

国土交通省
配布資料

配布日時	平成17年6月9日 14時00分
------	---------------------

件名	ユニバーサル社会の実現に向けて、わが国の先端技術を世界に発信する 「自律移動支援プロジェクト」神戸本格実証実験開始式を 6月19日(日)に開催
----	---

概要	<p>平成17年度に神戸市内において実施する「自律移動支援プロジェクト 神戸実証実験」に先立ち、6月19日(日)に「本格実証実験開始式」を開催します。</p> <p>また、あわせて、坂村委員長(東京大学大学院教授)による神戸実証実験の概要説明及び本プロジェクトが目指す姿をイメージした、デモンストレーションを行います。</p> <p>詳細について、以下のとおり決定しましたのでお知らせします。</p> <p>➤日時:平成17年6月19日(日) 13:00~ ※取材希望の方は、12:45より受付開始(別紙参照)</p> <p>場所:神戸市役所1号館1F玄関ロビー</p> <p>➤スケジュール</p> <p>13:00~13:15 神戸本格実証実験開始式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 坂村委員長、神戸市長、国土交通省技監、 ・テープカット 坂村委員長、神戸市長、国土交通省技監他 <p>13:15~13:30 神戸本格実証実験の概要説明</p> <p>13:30~13:50 デモンストレーションの実施(市役所1F玄関ロビー)</p> <p>13:50~14:10 記者会見(市役所1号館14階大会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂村委員長、竹中委員、兵庫県理事、神戸市助役、国土交通省技監 <p>※ 記者会見の後にも、デモンストレーションを実施します(報道関係者へ公開)</p> <p>14:10~14:40(予定)</p> <p>《デモンストレーションの主なポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・i-BOXを用いた視覚障がい者及び車いす使用者のUCへのコンテンツダウンロード ・視覚障がい者及び車いす使用者の経路検索 ・視覚障がい者へ障害物接近情報の提供 ・インテリジェント基準点による公物管理情報の提供
----	---

取り扱い	テレビ・ラジオ : _____ 新聞 : _____
------	-------------------------------

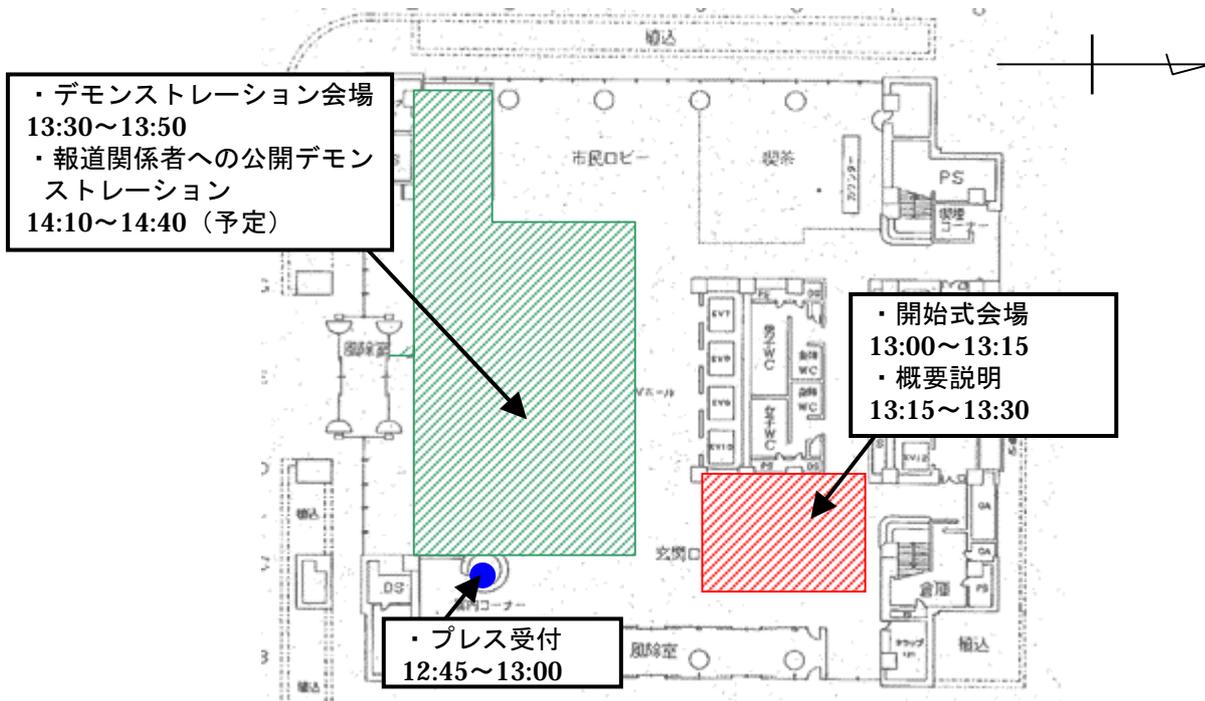
同時配布	<p>国土交通省記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、青灯クラブ、神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、兵庫県政記者クラブ、神戸市政記者クラブ</p> <p>みなと記者クラブ所属で資料が必要な方は、近畿地方整備局記者クラブ 中津(06-6942-1141内線2811)または、港湾空港部 辻(078-391-3101内線6444)に問い合わせ願います。</p>
------	--

問い合わせ先	<p>国土交通省 政策統括官付政策調整官室</p> <p>課長補佐 余米 紀彦 (内線53112) 係長 佐瀬 健一 (内線53116)</p> <p>電話:03-5253-8111(代表)、03-5253-8795(直通)</p> <p>国土交通省 近畿地方整備局 企画部</p> <p>復興事業調整官 小林 巨 (内線3118) 広域計画課長 栗田 泰正 (内線3211)</p> <p>電話:06-6942-1411(代表)、06-6942-4090(直通)</p> <p>神戸市 企画調整局調査室</p> <p>主幹 芋田 晴夫 主査 牛尾 紀夫</p> <p>電話:078-322-5467(直通)</p>
--------	--

自律移動支援プロジェクト神戸実証実験開始式について

■実証実験開始式及びデモンストレーション会場

神戸市役所 1階玄関ロビー



■記者会見会場

神戸市役所 1 4階大会議室



自律移動支援プロジェクト

～場所が話しかける新しいサービスシステムの実現に向けて～

自律移動支援プロジェクトの背景

- 急速な少子高齢化により、介護される人も、する人も高齢化する社会となり、すべての人がひとりで自由に出かけられるための情報提供が必要。
- ビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として、訪日外国人の方々へ多言語での情報提供が必要。

自律移動支援プロジェクトの目的

- 「ユニバーサル社会」の実現のため、ユビキタスネットワーク技術を使って「移動経路」、「交通手段」、「目的地」などの情報について「いつでも、どこでも、だれでも」アクセスできる環境をつくる。

自律移動支援プロジェクト サービスイメージ

今までモノに貼付されてきたICタグを場所にくくりつけると...



国土交通省での取り組み

国土交通省の平成17年度重点施策においても「ユニバーサルデザインの考え方に基づく国土交通施策の構築」のための具体的施策として「自律移動支援プロジェクト」を取り上げ、その推進に向けて取り組んでいる。

実証実験で得られた成果をもとに平成17年度中に技術仕様書を策定し、平成18年度以降、全国各地へ展開できるよう進めていく。

【自律移動支援プロジェクト・神戸実証実験内容について】

■技術実験

- ◇ 技術仕様書の策定に向け、実空間における I C タグ、赤外線、無線等の通信機器の性能確認を実施

■サービス実験

- ◇ 道路、鉄道、港湾等あらゆる利用者の移動場面を想定した実証実験フィールドを活用し、高齢者、障がい者、外国人をはじめ市民の方々に内容を確認頂きながらコンテンツやシステムを改善

■デモンストレーション

- ◇ 神戸において 8 月に開催される「チャレンジド・ジャパン・フォーラム 2005(CJF)国際会議 in HYOGO/KOBE」や「ユニバーサルデザイン全国大会」など、各種イベントと連携し、デモンストレーションを実施

平成 17 年度本格実証実験エリア



「自律移動支援プロジェクト推進委員会」

委員等名簿

(敬称略)

委員長	坂村 健	東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授
プロジェクト顧問		
	大石 久和	東京大学大学院情報学環COE教授
	月尾 嘉男	東京大学名誉教授
委員	川嶋 弘尚	慶應義塾大学理工学部管理工学科教授
委員	後藤 省二	三鷹市市民部調整担当部長
委員	竹中 ナミ	社会福祉法人プロップ・ステーション理事長
委員	長谷川 貞夫	日本点字図書館評議員
委員	長谷川 洋	筑波技術短期大学電子情報学科助教授
委員	福島 智	東京大学先端科学技術研究センターバリアフリー分野助教授
委員	井戸 敏三	兵庫県知事
委員	矢田 立郎	神戸市長
委員	吉岡 淳	内閣官房都市再生本部事務局参事官
委員	室城 信之	警察庁長官官房参事官
委員	森 孝	総務省総合通信基盤局電波部移動通信課 新世代移動通信システム推進室長
委員	江波戸 一敏	厚生労働省社会・援護局障害保健部 社会参加推進室長
委員	影山 岩夫	農林水産省総合食料局流通課商業調整官
委員	藤本 康二	経済産業省商務情報政策局サービス産業課 医療・福祉機器産業室長
委員	上野 宏	国土交通省政策統括官
委員	浜口 達男	国土交通省国土技術政策総合研究所長
委員	矢口 彰	国土交通省国土地理院長
委員	藤本 貴也	国土交通省近畿地方整備局長
委員	谷口 克己	国土交通省近畿運輸局長
トータルコーディネーター		
	佐藤 信秋	国土交通省技監